

# 2017 アジア大学サッカー韓国テベック大会報告書

## U-19 全日本大学選抜 EAST チームコーチとして

李 宇諤 (法学部准教授)

はじめに今回のU-19全日本大学選抜 EASTチームのコーチとして参加させて頂きまして全日本大学サッカー連盟の関係者およびリーグ戦中にもかかわらず選手を出して頂きました各大学のスタッフの皆さんに深く感謝申し上げます。そして、今大会期間中に大学の仕事の関係上チームの帰国予定日より早く帰国させて頂き、チームにご迷惑をかけたことを改めてこの場を借りてお詫び申し上げます。

今年の8月5、6日に行われた選考会を通して選出されたU-19全日本大学選抜EASTチーム(大学1年生)選手20名とスタッフは、大会直前の9月18日、朝6時40分に羽田空港国際ターミナルに集合し韓国に行く手続きを行いました。昼頃にソウル金浦空港に到着し大会本部から用意されたバスで移動しながら途中サービスエリアで昼食を取りました。今大会が開かれる太白市(テベック市)は、ソウル金浦空港からバスで約4～5時間所要する大韓民国江原道南部にある街で、太白山脈の太白山のふもとにある標高700～900mに位置する高原都市である。さらに、本大会の宿泊施設であったO2リゾートは標高1100mの高地でしたので朝晩はやはり気温が下がったので体調管理をしっかり行えるよう注意を払いました。

今大会の期間は、2017年9月20日～27日で、参加国は、日本(2チーム)、イラン(2チーム)、マレーシア、タイ、台湾、フィリピン、そして、開催国の韓国(2チーム)の7か国、10チームで、2グループに分けられ各グループの総当たり形式で行う予定でしたが、2チーム参加する予定であったイランが1チームしか参加できないことを大会直前に大会本部に報告し、大会本部は、イランチームの代わりに急遽単独チーム(朝鮮大学校、以下韓国C)を参加させるハプニングもあったが幸いに日程は予定通りに行いました。したがって、Aグループは、U-19全日本大学選抜WEST、韓国A、韓国C、タイ、マレーシアの5チーム、Bグループは、U-19全日本大学選抜EAST、韓国B、イラン、台湾、フィリピンの5チームでした。

また、大会期間中、最も重要なこととして食事に関しては、主に韓国料理をメインとしたバイキング形式のレストランで他にパンやジュースなどの飲み物と果物がありました。まだバスの手配や各国のチーム付き通訳さんの手配なども忠実にしていました。

初日は、宿舎に着いてから集合写真撮影やADカードなど簡単な手続きを終えて30分ほど軽く体を動かし汗を流しました。

2日目となる9月19日は、午前、8時50分か

ら約30分程度本吉監督からこの大会の意義や目的とこのチームの戦い方について全体ミーティングを行いました。その後、午前10時からゴウォン第1人工芝のグラウンドにてこのチームになってから初めてのグラウンドでの全体トレーニングを実施しました。その際、ウォーミングアップと全体トレーニングを行ってから最後にU-19全日本大学選抜WESTチームと15分ハーフで紅白戦を行い、コンディションがいい選手とコンビネーションなどをチェックし、明日の初戦に向けて準備を整えました。

そして、迎えた初戦は韓国Bチーム。この相手は韓国の地方の大学から選出された4年生を中心としたチームでした。このチームは比較的に目立つ選手は少ないがひた向きに一生懸命戦うチームであると情報もあり優勝を目標としたU-19全日本大学選抜EASTチームにとって韓国Bとの初戦は決勝進出にかけた大事な試合でありました。韓国Bは1-4-2-3-1、対するU-19全日本大学選抜EASTチームは1-4-4-2のダブルボランチで試合に挑みましたが前半立ち上がりから韓国Bのハイプレッシャーに苦しめられる展開、さらに、前半コーナーキックから先制され、そのまま前半が終了。そのまま終わらない今回のチームは後半から切り替え、流れからFW上田の1点、





コーナーキックからMF伊藤のヘッドで1点を取り、さらに、後半最後に取りられたPKもGK水谷がスーパーセーブし、そのまま試合は終了。見事に2:1で逆転勝利の白星スタートでした。

第2戦目は前年度準優勝チームのイラン、その相手に対し、試合は前半立ち上がりから後半最後まで我々の流れを保ち6:0勝利。

そして、1日休みを挟んで迎えた第3戦目は比較的格下だと思われたフィリピン戦、12:0で大勝、予選3連勝。

そして2日休みを挟んで迎えた予選最後の試合は台湾戦、前半1:1で折り返したが後半5点を取り6:1で勝利し、Bグループ1位となり決勝進出を決めました。

いよいよ決勝戦。対戦相手はAグループ1位の韓国Aチーム。韓国Aチームは、韓国の中部地域から選出された4年生中心のチーム。予選から何試合かを観て今大会に参加したチームの中から一番力があると感じました。いよいよ迎えた決勝戦、相手の韓国Aチームに対しU-19全日本大学選抜EASTチームは自分たちのサッカー見事に行い3:2で勝利し優勝。これは、選手たちはもちろんだが、我々スタッフも選手たちと共に貴重な経験をさせて頂いたことは間違いのないと思います。

最後に、今大会において、本吉監督、安倍GKコーチ、一ノ瀬ドクター、佐保トレーナー、丸山君、通訳のユさんのスタッフの皆さんと選手た

ちと優勝することができ、誇りに思いつつ深く感謝申し上げます。まだ今大会を通じて貴重な経験をした若き選手たちが引き続き今後も活躍することを期待します。

